

標準案内用図記号ガイドライン 2020

2020年11月

標準案内用図記号ガイドライン改訂版見直しに関する委員会
事務局：（公財）交通エコロジー・モビリティ財団

標準案内用図記号ガイドライン2020について

1. 策定の背景、目的

不特定多数の人が出入りする交通施設、観光施設、スポーツ施設、商業施設等に使用される案内用図記号は、一見してその表現内容を理解できることから、文字による情報伝達が困難な場合や発語を必要としない人のコミュニケーションツールとしても優れた情報提供手段です。2002年日韓ワールドカップ開催を控えた1999年頃は国内的にも国際的にも標準化が遅れていた状況で、国内的には日本工業標準（現日本産業標準：JIS）化がなされておらず施設ごとにバラバラに使用されていました。また、国際的にも国際標準化機構（ISO）によってわずか57項目が標準化されているに過ぎませんでした。

一方で、社会の変化により利用者のニーズが多様化し、またバリアフリーの観点からもこうした図記号の一層の充実、統一化の必要性が高まっていたため、交通施設、観光施設、スポーツ施設、商業施設等の国内諸施設に使用される案内用図記号の標準となるものを示すことを目的として、2001年3月「標準案内用図記号ガイドライン」を策定しました。

その後、国内的にはJISZ8210の制定、国際的にはISOでの登録数も増えている状況の中、国内的には少子高齢化がより一層進むと共に、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決定し、今後益々訪日外国人観光客数の増加が見込まれる状況を受け、「標準案内用図記号ガイドライン改訂版」を2017年7月に策定しました。

さらに今回は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会以降も視野にインクルーシブな社会構築の一助として標準となるものを示すことを目的として「標準案内用図記号ガイドライン2020」を策定しました。

2. 策定の経緯

本ガイドラインは、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団が2018年6月に設置した「2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたピクトグラム（図記号）のあり方意見交換会」（以下「意見交換会」）における検討結果を踏まえ、「標準案内用図記号ガイドライン改訂版見直しに関する委員会」（以下「委員会」）にて2020年9月に策定しました。

意見交換会は、当事者団体、学識経験者、デザイナー、関係各社等の参加を得て、2018年6月に設置され、標準案内用図記号の検討、追加に向けて、今回は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のための競技施設での使用を視野に単年度で集中した議論を重ねました。図記号使用例の収集、障害当事者団体、デザイナーへの調査を踏まえ、図材の選定等の作業を行い、図案作成をすすめました。

本来は図案作成のあと、ISOに準拠した自由記述による理解度試験とJISに準拠した視認性試験を実施するのですが、今回は、これまでのように既に街中に溢れた何種類ものデザインを統一するのではなく、未知のニーズを先取りする項目が含まれていたため、従来の自由記述方法では評価が期待できないと判断し、JISに準拠した正答を含む4項目から一つを選ぶ四者択一方式で正答率を評価する理解度試験及び視認性試験により原案の適性度を評価し、2019年3月に8項目の案内用図記号を作成しました。

その後、意見交換会の検討結果をもとに、[表-1]に示すとおり、国土交通省、東京都等行政機関、当事者団体、交通事業者、学識経験者、デザイナー等の参加を得た委員会で推奨度に関する整理、カテゴリ分類名称の追加検討、案内用図記号の移動、削除、及びJISZ8210「案内用図記号」からの追加を検討し、策定に至りました。[表-2参照]

標準案内用図記号ガイドライン2020について

3. 図記号の造形者

本ガイドラインの図記号は、次の※1～7を除き、公益社団法人日本サインデザイン協会(SDA)＋中川憲造／NDCグラフィックスが造形しました。

- ※1 火災予防条例(例)
- ※2 一般社団法人日本レストルーム工業会
- ※3 ISO7001:2017
- ※4 消防法に基づく告知
- ※5 防災情報機構NPO法人
- ※6 図記号の標準形
- ※7 国際シンボルマーク

4. 本ガイドラインと図記号のご利用にあたって

本ガイドライン改訂版に掲載されている図記号は、誰でも自由に使用することができます。また、本ガイドラインとこれら図記号のデータは、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団のホームページ(<http://www.ecomo.or.jp/>)に掲載されていますのでご利用ください。ただし、これらの図記号を商標又は意匠として登録等を行うと、第三者の権利を侵害する可能性があります。ご不明な点等ございましたら下記までお問い合わせください。

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団バリアフリー推進部
E-mail. bari_info@ecomoto.or.jp Tel. 03-3221-6673 Fax. 03-3221-6674

[表-1] 標準案内用図記号ガイドライン改訂版見直しに関する委員会の構成

(2020年11月現在、委員五十音順、敬称略)

■委員会

○委員長

秋山 哲男 中央大学研究開発機構
機構教授

○委員

赤瀬 達三	株式会社黎デザイン総合計画研究所 代表取締役	島山 博文	一般社団法人日本旅客船協会 企画部長
安部井 聖子	社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会 評議員	原 ミナ汰	一般社団法人LGBT法連合会 共同代表理事
安藤 信哉	東京都重症心身障害児(者)を守る会 会長 公益社団法人全国脊髄損傷者連合会 常務理事 事務局長	平野 祐子	主婦連合会 社会部部長 副会長
石井 達雄	株式会社石井マーク 代表取締役 ISO/TC145/SC2 国内対策委員会 主査	平野 洋喜	国土交通省総合政策局安心政策課 交通バリアフリー政策室長
石島 徹	一般社団法人日本地下鉄協会 業務部長	福塚 英雄	東京都産業労働局観光部 事業調整担当課長
岩本 健良	オフィストイレのオールジェンダー利用に関する研究会 座長	船戸 裕司	公益社団法人日本バス協会 常務理事
小幡 恭弘	公益社団法人全国精神保健福祉会連合会 事務局長	松田 妙子	NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 理事 NPO法人せたがや子育てネット 代表理事
木内 盛雅	東京都都市整備局都市基盤部交通政策 担当課長	三澤 一登	一般社団法人日本発達障害者ネットワーク 副理事長
北島 哲也	公益社団法人日本観光振興協会観光地域づくり・ 人材育成部門 観光地域マネジメント担当部長	三宅 亮	観光庁外客受入担当参事官室 課長補佐
黒田 優香	一般財団法人日本規格協会産業基盤系規格開発ユニット 土木・建築・機械系規格チーム	村上 哲也	一般社団法人日本ショッピングセンター協会 参与
定村 俊満	公益社団法人日本サインデザイン協会 常任理事・調査研究委員会委員長 株式会社ソーシャルデザインネットワークス 代表取締役	森川 美和	公益財団法人共用品推進機構総務課 課長
佐藤 加奈	社会福祉法人日本身体障害者団体連合会 事務局次長	八城 雅弘	東日本旅客鉄道株式会社鉄道事業本部設備部 課長
高柴 和積	一般社団法人全国空港ビル事業者協会 常務理事	山崎 涼子	DPI日本会議 バリアフリー部会 副部会長 自立生活センター・小平
高橋 儀平	東洋大学 名誉教授 東洋大学工業技術研究所 客員研究員	湯浅 慎一	一般社団法人日本ビルディング協会連合会 事務局次長
滝澤 広明	一般社団法人日本民営鉄道協会 運輸調整部長		
谷口 良雄	公益社団法人日本オストミー協会 会長		
辻村 由佳	一般財団法人国際観光サービスセンター 成田国際空港ツーリストインフォメーションセンター 所長		
永田 直子	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 副理事長		
中野 泰志	慶應義塾大学経済学部 教授		
中村 祐二	自由学園最高学部 特任教授 ISO/TC145/SC3国内対策委員会 委員長		
橋口 亜希子	橋口亜希子個人事務所 代表 発達障害を手がかりとしたUDコンサルタント		

○オブザーバー

経済産業省 産業技術環境局 国際標準課

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
大会運営局 会場サービス部 サイネージ課

一般社団法人日本レストルーム工業会

■事務局

吉田 哲朗 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
理事兼バリアフリー推進部長

竹島 恵子 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
バリアフリー推進部企画調査課 調査役

児山 啓一 株式会社アイ・デザイン 代表取締役
ISO/TC145/SC1国内対策委員会 主査

堀口 仁美 株式会社アイ・デザイン 取締役

[表-2] 新規追加項目

1 公共・一般施設 Public Facilities 8項目



男女共用お手洗
All gender toilet



こどもお手洗
Children's toilet



おむつ交換台
Diaper changing table



ベビーチェア
Baby chair



着替え台
Changing board

・上記5項目：2018年に公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団にて策定、
2020年にJIS Z 8210追補3として発行



洋風便器
Sitting style toilet



和風便器
Squatting style toilet



温水洗浄便座
Spray seat

・上記3項目：2019年にJIS Z 8210:2017追補1として発行

9 アクセシビリティ Accessibility 12項目



介助用ベッド
Care bed



カームダウン・クールダウン
Calm down, cool down

・上記2項目：2018年に公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団にて策定、
2020年にJIS Z 8210追補3として発行



高齢者優先設備
Priority facilities for elderly people



障害のある人・
けが人優先設備
Priority facilities for injured people



内部障害のある人優先設備
Priority facilities for people with internal disabilities, heart pacer, etc.



乳幼児連れ優先設備
Priority facilities for people accompanied with small children



妊産婦優先設備
Priority facilities for expecting mothers



高齢者優先席
Priority seats for elderly people



障害のある人・
けが人優先席
Priority seats for injured people



内部障害のある人優先席
Priority seats for people with internal disabilities, heart pacer, etc.



乳幼児連れ優先席
Priority seats for people accompanied with small children



妊産婦優先席
Priority seats for expecting mothers

・上記10項目：2017年にJIS Z 8210:2017として発行

[表-3] 削除項目

4 観光・文化・スポーツ施設 Tourism, Culture, Sport Facilities 3項目



自然保護
Nature reserve



スカッシュコート
Squash court



Tバーリフト
T bar lift

・上記3項目：ISO 7001:2007Third editionで削除されたため [参考] から削除

8 指示 Mandatory 5項目



安全バーを閉める
Close safety bar



安全バーを開ける
Open safety bar



徒歩客は降りる
Get off



スキーの先を上げる
Raise ski tips



スキーヤーは降りる
Skiers have to get off

・上記5項目：ISO 7001:2007Third editionで削除されたため [参考] から削除

[表-4] 変更・修正事項

カテゴリー表記の変更

9 アクセシブル Accessible → **9** アクセシビリティ Accessibility

表示事項の誤植修正



障害がある人が使える設備
Accessible facility



障害のある人が使える設備
Accessible facility

[注記] 追加・削除・変更・修正時に検討したこと

・カームダウン・クールダウンの図記号の意味は、気持ちを静めるための設備を示すものであるが、独立した部屋を設ける場合やカーテンで間仕切りするだけの場合など、様々な運用形態が想定される。そこで、設備に対する概念を固定しないために、室、コーナーなどの名称を付けず、サインに使用する名称は使用者の判断にゆだねることとした。

※なお、カームダウン・クールダウンの詳細は、以下のURLをご確認ください。

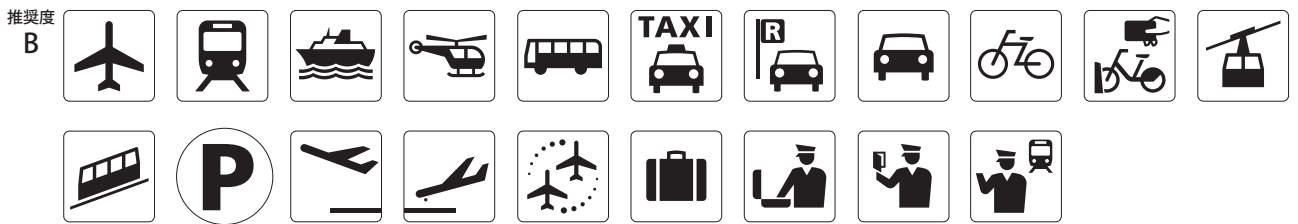
<http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/pictogram/calmdown-cooldown/>

[表-5] 標準案内用図記号 一覧表

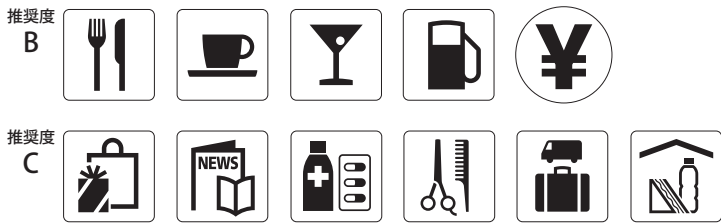
1 公共・一般施設 Public Facilities 49項目 p10~14



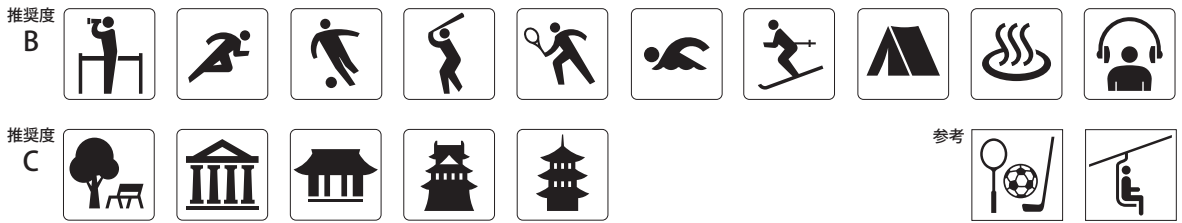
2 交通施設 Transport Facilities 20項目 p15~16



3 商業施設 Commercial Facilities 11項目 p17



4 観光・文化・スポーツ施設 Tourism, Culture, Sport Facilities 15項目 (参考は除く) p18~19



5 安全 Safety

6項目 p20

推奨度
A



6 禁止 Prohibition

22項目 p21~22

推奨度
A



推奨度
B



推奨度
C



7 注意 Warning

9項目 p23

推奨度
A



8 指示 Mandatory

11項目 (矢印応用例は8種を1項目) p24

推奨度
A



推奨度
B



9 アクセシビリティ Accessibility

17項目 p25~26

推奨度
A



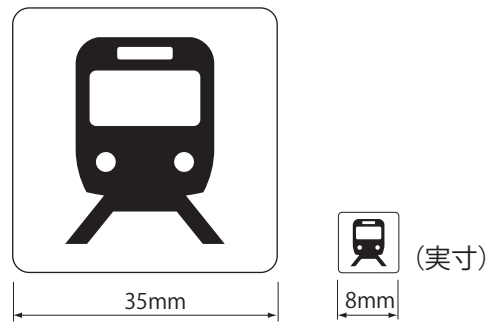
■ 使用上の注意

- 1) 本ガイドラインでは、図記号の使用について次の推奨度区分を定めています。使用にあたっては、これを遵守してください。
 - ・推奨度A：安全性及び緊急性に関わるもの、多数のユーザーにとって重要なもの及び移動制約者へのサービスに関わるものです。これらについては、図形を変更しないで用いることを強く要請します。
 - ・推奨度B：多数の利用者が通常の行動や操作をする上で、図記号の概念及び図形を統一することによって利便性が高まると期待されるものです。これらについては、図形を変更しないで用いることを推奨します。
 - ・推奨度C：多数の利用者が通常の行動や操作をする上で、図記号の概念を統一することが必要なものです。これらについては、基本的な概念を変えない範囲で適宜図形を変更して用いることができます。
- 2) [注1]の表記がある図記号は、文字による補助表示が必要です。図記号単独での使用は避けてください。その際の文字表示は、各図記号に併記してある表示事項を参考にしてください。
- 3) [注2]の表記がある図記号は、図記号中の通貨記号を必要に応じて他の通貨記号に変更することができます。
- 4) 本ガイドラインの図記号は、視距離1mで表示する場合の最小寸法を35mm角、手にとって見ることのできる地図類に用いる場合の最小寸法を8mm角とする条件で設計されています。これより小さくして使用することは避けてください。(図1)
- 5) 本ガイドラインの図記号は、正方形・円形・三角形が同じ大きさに見えるように、寸法を調整してあります。これら三種の外形を持つ図記号を混用して拡大・縮小する際は、この点にご留意ください。(図2)
- 6) 赤、青、黄、緑が使用されている図記号の色彩は、[JISZ9103安全色及び安全標識(2017年度改正)]に依っています。使用の際は、次の値を参照してください。(図3)

※このガイドラインは、レギュラーインクを使用しているため近似色である。

	色名	マンセル値
安全色	赤	8.75R 5/12
	青	2.5PB 4.5/10
	黄	7.5Y 8/12
	緑	5G 5.5/10
対比色	白	N9.3
	黒	N1.5

(図1)



(図2)

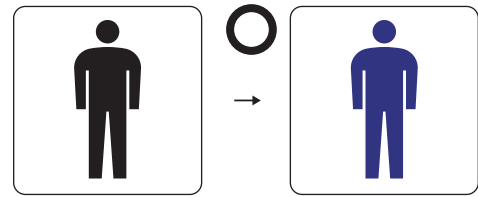


(図3)

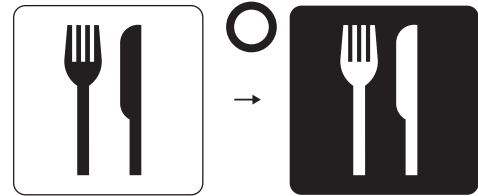


- 7) 白地に黒色で表現されている図記号は、前記の赤、青、黄、緑の安全色を除く、他の色彩に変更することができます。(図4)
また、図と地の関係を反転することができます。(図5)

(図4)

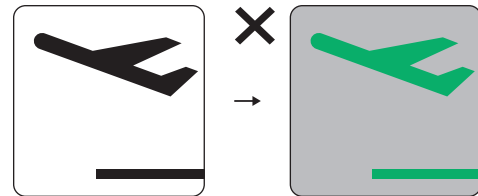


(図5)



- 8) 色彩あるいは明度を調整して使用する場合は、見やすさに配慮し、図と地色とのコントラストが十分明確になるようにしてください。
明度差は少なくとも0~10段階のマンセル表色系で、5以上になるようにしてください。(図6)

(図6)



- 9) 図記号によっては、誘導方向や設置環境に応じて左右を反転することができます。(図7)にその例を示します。

(図7)



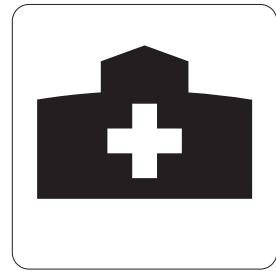
推奨度
A



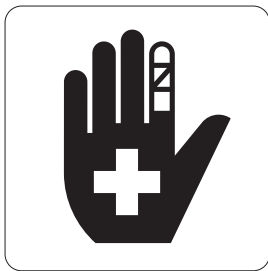
案内
Information



案内所
Question & answer



病院
Hospital



救護所
First aid



警察
Police



お手洗
Toilets



男女共用お手洗
All gender toilet

(備考)
文字による補助表示を付ける場合は、「男女共用 All gender」またはそのどちらかとする。
色彩はモノトーンが望ましい。



男性
Men



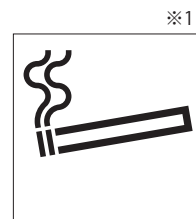
女性
Women



飲料水
Drinking water



喫煙所
Smoking area



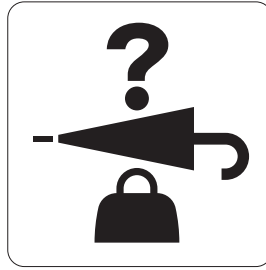
(備考)
火災予防条例で上記の図記号の使用が規定されている場所には、上記の図記号を使用する必要がある。

1 公共・一般施設 Public Facilities

推奨度
B



チェックイン / 受付
Check-in / Reception



忘れ物取扱所
Lost and found



ホテル / 宿泊施設
Hotel / Accommodation



きっぷうりば / 精算所
Tickets / Fare adjustment



手荷物一時預かり所
Baggage storage



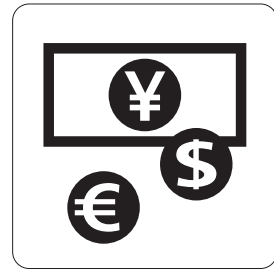
コインロッカー
Coin lockers



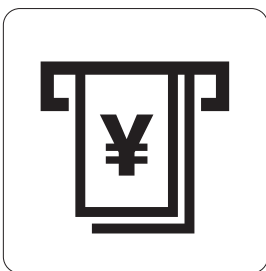
休憩所 / 待合室
Lounge / Waiting room



ミーティングポイント
Meeting point



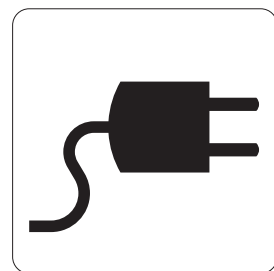
銀行・両替
Bank, money exchange
[注2] (通貨記号差し替え可)



キャッシュサービス
Cash service
[注2] (通貨記号差し替え可)



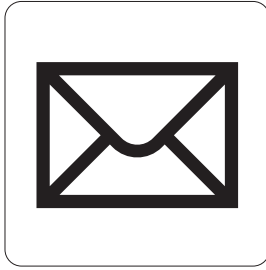
海外発行カード対応ATM
ATM for overseas cards
[注2] (通貨記号差し替え可)



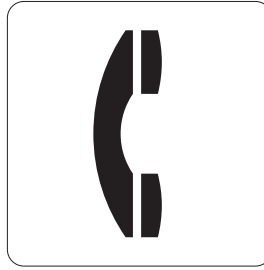
充電コーナー
Charge point

1 公共・一般施設 Public Facilities

推奨度
B



郵便
Post



電話
Telephone



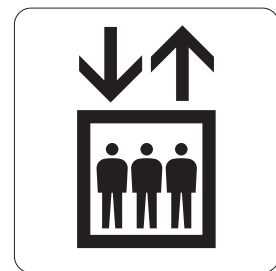
無線LAN
Wireless LAN



ファックス
Fax



カート
Cart



エレベーター
Elevator



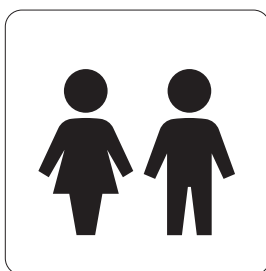
エスカレーター
Escalator



階段
Stairs



乳幼児用設備
Nursery



子どもお手洗
Children's toilet



おむつ交換台
Diaper changing table

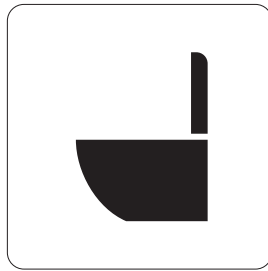


ベビーチェア
Baby chair

推奨度
B

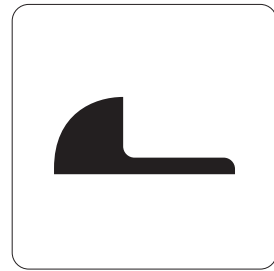


着替え台
Changing board



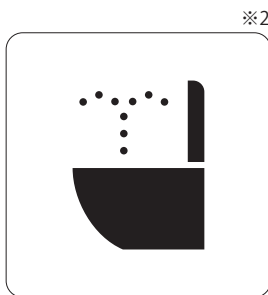
※2

洋風便器
Sitting style toilet



※2

和風便器
Squatting style toilet



※2

温水洗浄便座
Spray seat



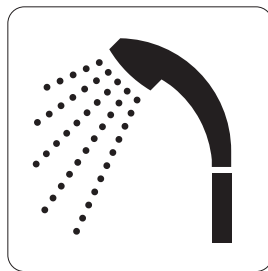
クローク
Cloakroom



更衣室
Dressing room



更衣室（女性）
Dressing room (women)



シャワー
Shower



浴室
Bath



水飲み場
Water fountain



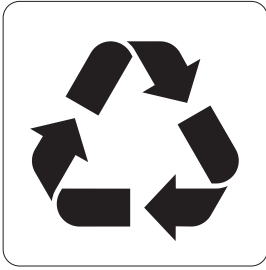
礼拝室
Prayer room



くず入れ
Trash box

1 公共・一般施設 Public Facilities

推奨度
B



リサイクル品回収施設
Collection facility for
the recycling products

推奨度
C

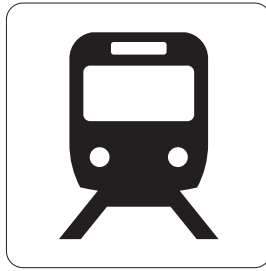


自動販売機
Vending machine
[注2] (通貨記号差し替え可)

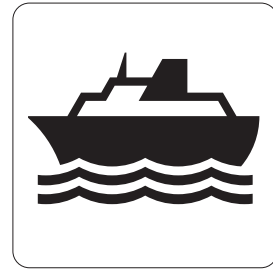
推奨度
B



航空機 / 空港
Aircraft / Airport



鉄道 / 鉄道駅
Railway / Railway station



船舶 / フェリー / 港
Ship / Ferry / Port



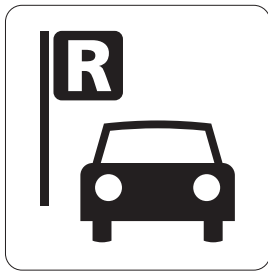
ヘリコプター / ヘリポート
Helicopter / Heliport



バス / バスのりば
Bus / Bus stop



タクシー / タクシーのりば
Taxi / Taxi stop



レンタカー
Rent a car



一般車
Car



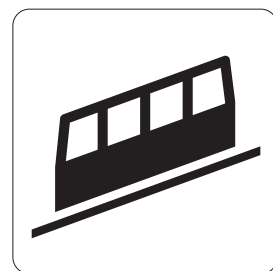
自転車
Bicycle



レンタサイクル / シェアサイクル
Rental bicycle / Bicycle sharing



ロープウェイ
Cable car



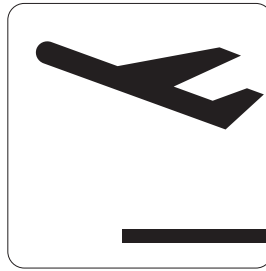
ケーブル鉄道
Cable railway

2 交通施設 Transport Facilities

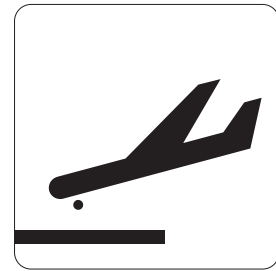
推奨度
B



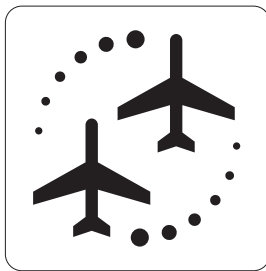
駐車場
Parking



出発
Departures



到着
Arrivals



乗り継ぎ
Connecting flights



手荷物受取所
Baggage claim



税関 / 荷物検査
Customs / Baggage check



出国手続 / 入国手続 /
検疫 / 書類審査
Immigration /
Quarantine / Inspection



駅事務室 / 駅係員
Station office / Station staff

推奨度
B



レストラン
Restaurant



喫茶・軽食
Coffee shop



バー
Bar



ガソリンスタンド
Gasoline station



会計
Cashier
【注2】(通貨記号差し替え可)

推奨度
C



店舗 / 売店
Shop



新聞・雑誌
Newspapers, magazines



薬局
Pharmacy



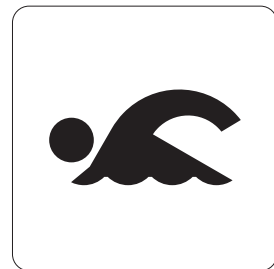
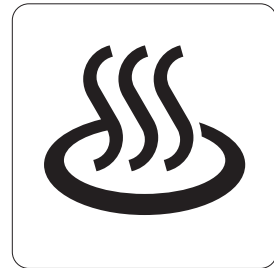
理容 / 美容
Barber / Beauty salon



手荷物託配
Baggage delivery service



コンビニエンスストア
Convenience store

推奨度
B展望地 / 景勝地
View point陸上競技場
Athletic stadiumサッカー競技場
Football stadium野球場
Baseball stadiumテニスコート
Tennis court海水浴場 / プール
Swimming placeスキー場
Ski groundキャンプ場
Camp site温泉
Hot springイヤホンガイド
Audio guide

4 観光・文化・スポーツ施設 Tourism, Culture, Sport Facilities

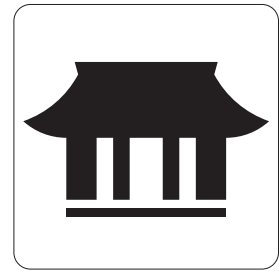
推奨度
C



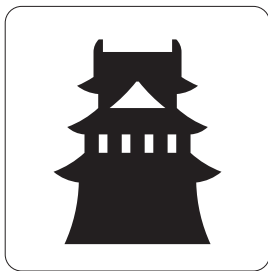
公園
Park



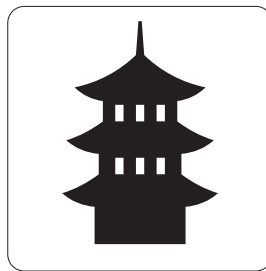
博物館 / 美術館
Museum



歴史的建造物
Historical monument



応用例 1
variant 1



応用例 2
variant 2

参考



※3
スポーツ活動
Sporting activities



※3
腰掛け式リフト
Chairlift

推奨度
A



消火器
Fire extinguisher



非常電話
Emergency telephone



非常ボタン
Emergency call button



列車の非常停止ボタン
Emergency train stop button



非常口
Emergency exit

(備考)
消防法に基づく告知
(平成11年3月17日消防庁告示第2号)



広域避難場所
Safety evacuation area

推奨度
A



※6

一般禁止
General prohibition



禁煙
No smoking



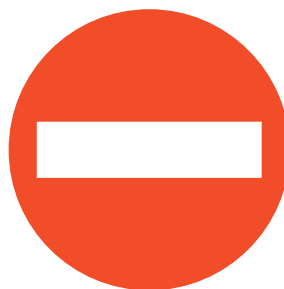
※1

(備考)
火災予防条例で上記の図記号の使用
が規定されている場所には、上記の
図記号を使用する必要がある。



※1

火気厳禁
No open flame



進入禁止
No entry



駐車禁止
No parking



自転車乗り入れ禁止
No bicycles



立入禁止
No admittance



走るな / かけ込み禁止
Do not rush



ホームドア：たてかけない
Do not lean objects on the platform door
[注1] (文字による補助表示が必要)



ホームドア：乗り出さない
Do not lean over the platform door



さわるな
Do not touch

6 禁止 Prohibition

推奨度
A



捨てるな
Do not throw rubbish



飲めない
Not drinking water



携帯電話使用禁止
Do not use mobile phones



電子機器使用禁止
Do not use electronic devices
[注1] (文字による補助表示が必要)



撮影禁止
Do not take photographs



フラッシュ撮影禁止
Do not take flash photographs

推奨度
B



ベビーカー使用禁止
Do not use prams / strollers
[注1] (文字による補助表示が必要)



遊泳禁止
No swimming



キャンプ禁止
No camping

推奨度
C



飲食禁止
Do not eat or drink here



ペット持ち込み禁止
No uncaged animals

推奨度
A

※6



一般注意
General caution



障害物注意
Caution, obstacles
[注1] (文字による補助表示が必要)



上り段差注意
Caution, uneven access /
up



下り段差注意
Caution, uneven access /
down



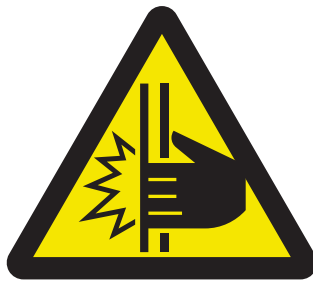
滑面注意
Caution, slippery surface



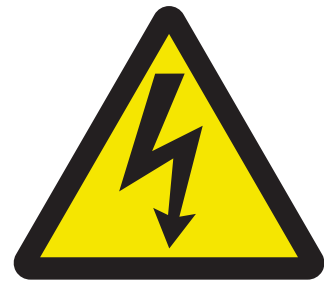
転落注意
Caution, drop
[注1] (文字による補助表示が必要)



天井に注意
Caution, overhead



ホームドア：手を挟まないよう注意
Caution, closing doors



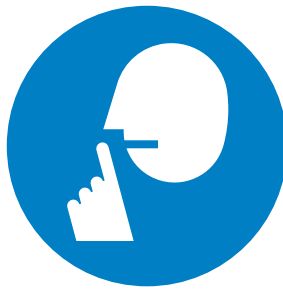
感電注意
Caution, electricity
[注1] (文字による補助表示が必要)

推奨度
A

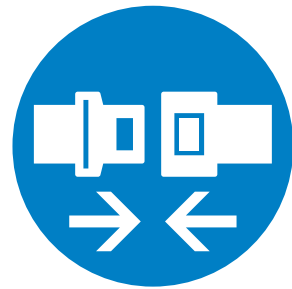


※6

一般指示
General mandatory



静かに
Quiet please



シートベルトを締める
Fasten seat belt



左側にお立ちください
Please stand on the left
[注1] (文字による補助表示が必要)



応用例 (右側にお立ちください)
variant (Please stand on the right)
[注1] (文字による補助表示が必要)

推奨度
B



二列並び
Line up in twos
[注1] (文字による補助表示が必要)



応用例 1 (一列並び)
variant 1 (Line up single file)
[注1] (文字による補助表示が必要)



応用例 2 (三列並び)
variant 2 (Line up in threes)
[注1] (文字による補助表示が必要)

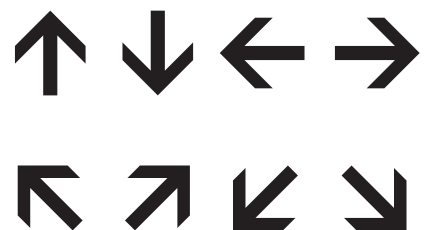


応用例 3 (四列並び)
variant 3 (Line up in fours)
[注1] (文字による補助表示が必要)



※6

矢印
Directional arrow



応用例
variants

推奨度
A

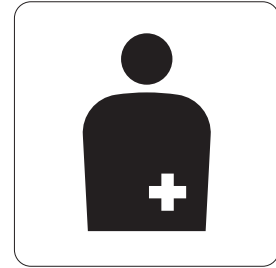
※7



障害のある人が使える設備
Accessible facility



スロープ
Slope



オストメイト用設備 /
オストメイト
Facilities for Ostomy /
Ostomate



コミュニケーション
Communication in the
specified language

(備考)
言語(ENGLISH)は、他の言語及び国旗に
差し替え可



コミュニケーション：筆談対応
Communication : Writing



介助用ベッド
Care bed



カームダウン・クールダウン
Calm down, cool down

[注1] (文字による補助表示をつける場合は
「カームダウン・クールダウン」とする)

(備考) 「この部屋は気持ちを静めるため
の部屋です」など、運用に適した利用説
明の表示をつけることが望ましい。



高齢者優先設備
Priority facilities for
elderly people



障害のある人・けが人優先設備
Priority facilities for
injured people



内部障害のある人優先設備
Priority facilities for people with internal
disabilities, heart pacer, etc.



乳幼児連れ優先設備
Priority facilities for people accompanied
with small children



妊産婦優先設備
Priority facilities for
expecting mothers

9 アクセシビリティ Accessibility

推奨度
A



高齢者優先席
Priority seats for
elderly people



障害のある人・
けが人優先席
Priority seats for
injured people



内部障害のある人優先席
Priority seats for
people with internal
disabilities, heart pacer,
etc.



乳幼児連れ優先席
Priority seats for
people accompanied
with small children



妊産婦優先席
Priority seats for
expecting mothers

